



至宝南自治会（青少年健全育成）

## 目次 CONTENTS

- ◆大雪による被災農業者に支援 .....2～3
- ◆6月定例会で決められた概要 .....4
- ◆一般質問 .....5～11

2月に発生した大雪による被災農業者に、支援を行います。  
財源は経営体育成支援事業の補助を緊急的に受けることとなります。  
対象は、施設園芸のうち農業用ハウス等の撤去及び再建修繕に要する費用となり、1億3786・7万円の増額補正（地域連携重点推進10万円含む）が、一般会計補正予算（第1号）決議として上程され審議されました。

本会議での質疑応答の末、全会一致で原案可決となりました。

## 6月定例議会

# 大雪による 被災農業者に支援 営農再開及び食料の安定供給に万全を期す

**問** 経営体育成支援事業の補助率は。

**経済部長** 施設の撤去は、国が50%、

県が25%、町が25%です。施設の再

が20%の補助率となります。

再建修繕については、作付面積の9

割以上の被害があった再建修繕には、  
町で10%上乗せします。対象戸数は

2戸です。

**問** 経営体育成支援事業の補助対象数

は100戸か。

**経済部長** 対象戸数100は、撤去、





再建・修繕の延べ戸数で実戸数は60戸です。

**問** 補助金の交付の手続き、支給の時期は。

**経済部長** 四半期ごとに交付申請、概算払い請求を行う予定ですので、事業費が確定次第、早急に手続きをします。

町の補助金については、既に撤去、修繕等が終了した方もいますので、必要書類等の提出があり次第早急に交付をします。

**問** 作目ごとの被害状況は。

また、これを機に苺づくり等を止めるといふ農家はあるのか。

**経済部長** 再建を断念する方の報告は受けていません。

**農政課長** 苺の被害状況は、単・連棟の合計が2万7,310㎡、25棟、1億7,519.5万円、トマトは1,400㎡、2棟、1,526万円、花卉関係は2,170㎡、10棟、1,294.8万円です。

2月28日現在の町全体の被害状況は、4万5,050㎡、71棟、2億8,500.5万円です。



倒壊したハウス

平成26年度

**補正予算**

(平成26年6月定例会可決)

(単位：千円)

会計名	補正額	補正後の予算	補正の主な理由
一般会計	137,867	11,737,867	25年度の大雪による農業被害者への緊急的な支援に関する補助及び藤井小が栃木県の地域連携重点推進モデル校に指定され、学校と地域との連携に係る実践的経費を補正するもの。

# 町内の全ての小中学校 耐震補強される



平成26年第3回定例議会は6月5日に招集され、6月13日までの9日間の会期で開かれました。

今回の定例議会は、最初に町長の所信表明が行われ、続いて町長から提出された職員の配偶者同行休業に関する条例の制定（常任委員会付託）1件、工事請負等契約の締結3件、人事案件3件、補正予算1件、その他3件の11議案が上程され、いずれの議案も原案のとおり決まりました。

## 契約

### 壬生中学校耐震補強 工事実施へ

平成17年度の耐震診断結果を受け、耐震性能を高め、生徒の安全性を確保するための耐震補強工事契約を本会議で審議し原案のとおり可決しました。

審議の中で、分割工事のメリットは、予定価格に対する落札価格の率は、西側の渡り廊下の耐震工事を実施しない理由は、工事は夏休みに全部終わるのか等の質疑がされ、その答弁を受け採決しました。

管理特別教室、普通教室棟及び渡り廊下棟の2契約併せて2億9千106万円の契約額となりました。

## 人事案件

### 副町長に森田氏を再任

平成26年6月30日任期満了

森田益夫氏（至宝三丁目）の任命に同意しました。



森田益夫氏  
（至宝三丁目）

### 人権擁護委員を再任

平成26年9月30日任期満了  
齋藤和子氏（安塚）  
中村恵子氏（中泉）の再任に同意しました。



齋藤和子氏  
（安塚）



中村恵子氏  
（中泉）

### 議会推薦の農業委員

平成26年7月19日任期満了

柏崎美代子氏（壬生地区）  
青木幸一氏（稲葉地区）  
森田勝子氏（南犬飼地区）の3名を推薦しました。



柏崎美代子氏  
（壬生地区）



青木幸一氏  
（稲葉地区）



森田勝子氏  
（南犬飼地区）

## 平成25年度 政務活動費の報告

政務活動費は、地方自治法に基づき条例で定められており、議員の調査研究に資するために交付される費用で、1人当たり月額10,000円（年額120,000円）が交付されます。

○印は会派の代表者

(単位：円)

会派名又は議員名	政務調査費交付金	項目					支出合計	返還金 (交付金残)
		調査研究費	研修費	会議費	資料購入費	事務費		
清友会 ○市川義夫 鈴木理夫 楡井 聡 細井敬一 大島菊夫 田村正敏 玉田秀夫 坂田昇一 赤羽根信行	1,080,000	1,028,825	0	4,414	86,400	0	1,119,639	0
河野辺恒雄	120,000	0	0	0	60,650	4,935	65,585	54,415
小牧敦子	120,000	17,480	66,740	0	31,225	0	115,445	4,555
中川芳夫	120,000	27,362	0	0	101,435	0	128,797	0
落合誠記	120,000	27,362	84,920	0	2,830	7,228	122,340	0
佐藤善光	120,000	27,362	39,440	0	44,358	9,470	120,630	0
高山文雄	120,000	0	0	0	49,800	2,800	52,600	67,400
小貫 暁	120,000	0	0	1,600	70,900	52,113	124,613	0

# Q&A

## ここが聞きたい 一般質問

### 新

## 体育館の施設の機能は

### 町長 防災機能等を兼ね備えた施設として整備します



玉田秀夫 議員

**問** 「医療のまち」としてのPR及び施策は。

**町長** 獨協大学との連携のもと、町民の健康意識の向上のため、「みぶまち・獨協健康大学」を活用していくとともに、町の健康や医療に関する施策、町民一人当たりの医師数が「県内1位」であることを発信し、住みたい・住み続けたい町として積極的にPRしていきます。

**問** 新体育館を防災拠点として機能を備えた施設としての考えは。

**町長** 大規模災害の発生に備え、町民の方々の避難拠点としての機能を發揮できる、防災機能等を兼ね備えた新体育館の整備が必要と考えています。

今年度、基本計画の中で屋内外の具体的な検討を重ね安

### 小菅町長2期目の 施策を問う

**問** 人口増加のための  
施策を伺う。

**町長** 町は、平成24年度の人口増加率で県内第1位となり、施策は都市計画税の課税ゼロ、こんにちは赤ちゃん祝金事業、デマンド交通「みぶまる」の整備等の実施、またメディア等を活用し、町の魅力を町外に発信してきました。人口減少社会の中で人口増

加の実現に、優良企業の誘致や新たな生活基盤の整備、少子高齢化対策に独自の施策の展開を図り、着実に人口増加を目指していきたいと考えています。

**問** みぶ菜の知名度拡大  
と販売網の戦略は。

**町長** みぶ菜を町民の方に理解いただく一面と、生産を安定化させて県外、東京方面に知名度を上げていく2つの戦略を図っていきます。

心・安全なまちづくりに資する体育館を目指します。

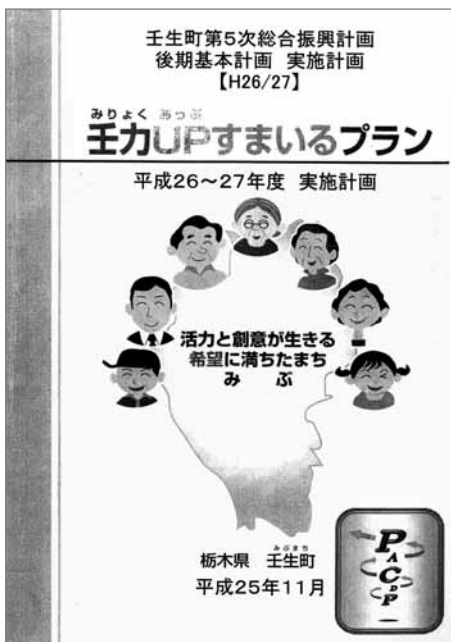
**ペットの去勢手術に  
補助金交付を**

**問** 飼い犬や猫の不妊及び去勢手術に補助金助成を。

**民生部長** 獣医師等の専門家やペットの飼い主などの意見を参考にし、その効果、需要等を見極めながら検討しま

**問** 県内自治体のペット去勢手術補助事業の実施状況は。

**民生部長** 平成25年度末現在、宇都宮市を初め、県内で8自治体となります。助成対象は、各自自治体で差異があるが、1頭当たり概ね3,000円から5,000円程度程度の助成となります。





# Q&A

## ここが聞きたい 一般質問

# 高

## 高齢者の福祉対策は

### 民生部長 安心して暮らせる事業に取り組みます



細井敬一 議員

者見守りネットワーク事業など自治会の皆様の協力を得て安心して暮らせる事業に取り組みます。

**問** 「認知症施策推進5か年計画」の各種施策の取り組みを求める。

**民生部長** 北地区地域包括支援センターに専門員を配置し、獨協や町開業医との連携を図り認知症施策を実施しています。

**問** 在宅介護の安全安心確保のあり方を求める。

**町長** 認知症は日々の暮らしの中で家族、地域の人の変化を見逃さないことが大切です。ネットワークで、きめの細かな対応をしていきたいと思えます。

**民生部長** 徘徊の可能性のある高齢者に「命のカプセル」

を配布しています。  
**本町の防災・減災対策を求める**

**問** 役場を震源地とした地震被害想定調査結果と防災計画の見直しを求める。

**教育長** 本町における経済被害は建物資産等、ライフライン、交通施設等、災害廃棄物等を合せて2374億5千万円を試算しています。計画の見直しは、課題を体系化し具体的な対策を検討し反映に努めます。

**問** 子どもたちの「防災教育」の取り組みを求める。

**教育長** 防災訓練や指導とおして、自分の安全を自分で守ろうとする態度、的確に判断し、安全な行動をとる能力

### 小菅町長二期目のまちづくりを問う

**問** 「住みたい」「住み続けたい」まちづくり、二期目の重点政策の取り組みを問う。

**町長** 最優先で、人口増加の核の施策として、羽生田産業団地への優良企業の誘致、六美北部地区区画整理事業を実施します。

また、新体育館の整備、子育て支援策、地域コミュニティ

いのつながりの強化、さらには、健全財政の維持、町民との協働による町づくりを推進します。

**問** 地域包括ケアシステム「の構築と高齢者福祉対策の現状と今後の取り組みを求める。

**民生部長** 元氣な高齢者には老人クラブ育成補助、援助を要する方は軽度生活援助事業等を実施しています。今後は、

地域包括ケアシステムの構築に向けた地域支援事業、高齢

の育成を図っています。



熱心に受講する地域見守りチーム員

# Q&A

## ここが聞きたい 一般質問

# 健

## 康づくりを実践するための支援は

### 町長 健康意識を高め、疾病を予防するための事業を実施します



坂田昇一 議員

増加が見込まれます。

町では、発症予防や重症化予防の観点から、町民の健康づくりを推進し、人間ドック、脳ドックの費用の助成等を実施しています。

**問** 町は医療費増大に対し、医療費を抑えるためどのような施策を考えているか。

**民生部長** 生活習慣病の予防を中心とし、集団検診や、特定保健指導の受診率向上を図ることが重要と考えています。

また、医療費の適正化対策を推進し、ジェネリック医薬品の利用促進等により医療費の抑制に努めます。

**障がい福祉サービスの充実**

**問** 当町の自立支援協議会の活動内容と改正に関連

し内容の変更などの考えは。

**民生部長** 平成20年度から協議会が設置され、委員には障がい者の家族、相談支援専門員がおり、当事者の課題や検討事項を協議しています。

協議会の内容・名称の変更は検討していません。

**問** 障がい者優先調達推進方針が施策され、どのような内容でどの様な施設を対象としているのか。

**民生部長** 施設または在宅で就業する障がい者の経済面の自立を進めるため、公の機関が障がい者就労施設等から、優先的、積極的に購入を促進する施策です。

優先される施設は、就労支援施設むつみの森、就労継続支援B型事業所こころ、社会

### 健康寿命の支援策は

**問** 健康づくりを実践するための必要な支援及び社会環境の整備とは。また、既に実践している施策は。

**町長** 現在、町では、第二期健康みぶ21計画に基づき、ライフステージの健康目標と7つの領域別目標の一次予防の達成に向けて、事業を実施しています。

実践内容は、健康意識を高

め、生活習慣病などの疾病を予防するため、生活習慣病予防教室やメタボ予防教室、出前健康教室を実施しています。

**診療報酬改定、町の取り組み**

**問** 診療報酬改定により想定される影響、それに対する手立ては。

**民生部長** 診療報酬の改定は全体で0・1%の増額改定となり、患者側は自己負担額の



イキイキサロン 開校式の様子

福祉法人せせらぎ会です。

# Q&A

## ここが聞きたい 一般質問

# 新

## 体育館建設に向けた現状は

### スポーツ振興課長 建設委員会を設置し計画を進めています



小牧敦子 議員

**スポーツ振興課長** 建設委員会をもとに計画を進めています。

**問** 実績を上げている一方、負担が大きい外部評価委員会への支援は。

的支援事業の効果的な実施のため関係者との連携に努めなければならぬとされており、それらの特徴を生かしながら役割を分担して業務を推進していくことが有効と考えており、今後も3者の連携を密にし、事業を推進していきます。

**問** みぶハイウェイパーク、おもちゃ博物館の将来像はどのようなか。

**副町長** 町経済の活性化を担う拠点、観光拠点施設の一つとして、今後も効果的運営、魅力的な施設となるようサービスの向上、活性化への検討を重ねます。

将来にツケを回さない健全な行財政運営は

**問** 期待される新体育館建設だが、財政負担はどのようなか。

**総務部長** 一部に国庫補助金を導入した場合、残りの一般財源分につきましては、まわづくり推進基金や起債の活用に対応できるものと考えております。

**問** 役場庁舎耐震化工事が先ではないか。耐震診断結果は。

**総務課長** 町全体的な計画からいたしますと、校舎を最優先に考えています。また、庁舎の耐震診断についてはまだ据え置いております。

**問** 住民の意見を反映させる為に住民説明会や市民・中学生ワークショップの開催はいかがか。

**副町長** 平成23年度から7名の方に評価をいただいております。今後も積極的に外部評価委員会の協力を得ながら、行政経営の効率化や透明性を図っていきます。

**問** 高齢者施策に欠かすことのできない社会福祉協議会と包括支援センター。社協の委託業務を整理し、町職員を配置する等、機能強化を図ったうえで包括ケア拠点とするのはいかがか。

**副町長** 地域包括支援センターの設置者は、高齢者の包括



建て替えが予定されている体育館



# Q&A

ここが聞きたい

## 一般質問

### 今

## 後の介護事業、要支援サービスは

町長 当町に合った事業を計画します



小貫 暁 議員

**問** 窓口の判断で申請者権利が侵害される心配がある。

**民生部長** 介護認定事務については、現在のところ変更はないと考えています。

**子供医療費は現物給付に**

**問** 「窓口払いをなくして」が住民の声だ。すでに中学生まで現物給付で実施している市町があるが、壬生町も実施すべきです。

**町長** 要介護1、2でもさまざまな事情で特別養護老人ホーム以外での生活が難しい場合は、町の適切な関与のもと特例的に入所を認めるとしています。

**問** 要介護の施設入所希望者が排除されるが受け皿は。

国の動向を注視しながら本町に合った事業を計画します。

**住宅リフォーム助成創設を**

**問** すでに全国の3分の1自治体で導入されている。地域活性化に役立つので実現を。

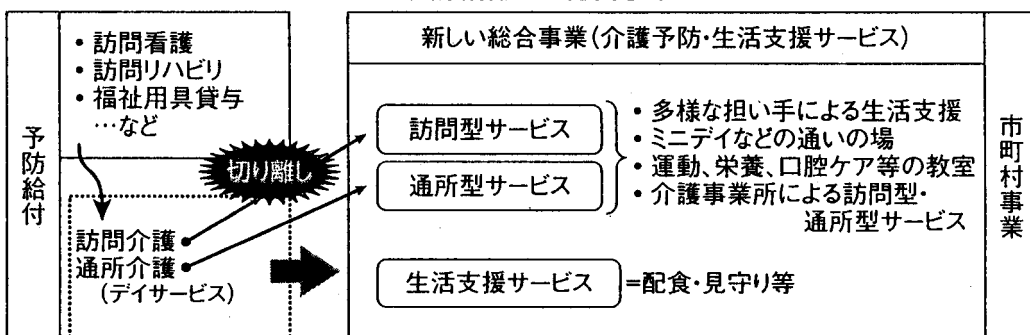
**経済部長** 今後は既存制度の利用を促進するとともに、変化する社会情勢への対応を図り、商工会とも連携し随時検討します。

**問** 要支援打ち切り後、サービスは自治体責任とされる。

**町長** 国は、指針、ガイドラインを策定し、市町村による事業の円滑な実施を支援するとしていますので、今後とも

**町長** 本町では現在、中学3年生までの子供を対象に、3歳未満を現物給付、3歳以上を償還払いにより医療費を助成しております。拡充につきましては、既にマニフェストの中で、中学3年生までの現物給付を実施していくとしています。

### 予防給付から総合事業へ



地域支援事業として市町村の裁量によって実施

# Q&A

## ここが聞きたい 一般質問



### ベノミクスによる本町への成果は

### 総務部長 町民生活の防災対策を重点的に推進します



落合誠記 議員

**問** デマンド交通の可能性、自治体間連携の展望は。

**総務部長** 関係市町や県との協議を行い準備を進めます。

**指定管理の要求水準を問う**

**問** 投資行為を認めるか。

**総務部長** 総合的に勘案して適切な判断をしていくこととなります。

**問** 自己都合による撤退リスク対策は。

**総務部長** 協定どおりの委託料支払いが合理的でないときは、精算により返還を求めます。

**問** ”運営”から”経営”の脱却は。

**総務部長** 危機管理体制などに対する措置が適切であったか等々の観点から把握します。

**問** 競争性向上をどう図るか。

**総務部長** 地域経済への貢献や緊急時の必要性などにも配慮する必要もあると考えます。

**問** 数値目標と収支計画を最重要視すべきだ。

**総務部長** 管理運営体制が適正であるか等を総合的に審査して選考します。

**SNS等の戦略的活用を求める**

**問** SNS等への対応、人員配置の現状は。

**総務部長** システム担当の情報広報係が3人います。より見やすい即時性のあるホーム

ページとする予定です。

**問** 災害対策等、SNS等の戦略的活用についての見解は。

**教育長** 壬生町防災WEB、携帯電話に送信する防災メール、エリアメール、防災行政無線などの取り組みをしています。

**アベノミクスと地方財源の確保**

**問** 昨年度の給与臨時措置の成果と本町への影響は。

**総務部長** 給料、共済費の合計額は6,998万9,000円の減額となり町民生活の防災対策を重点的に推進します。

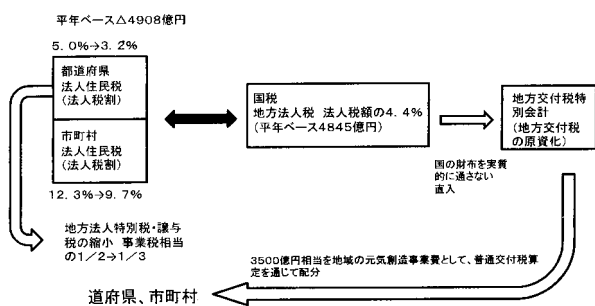
**問** 法人税率引き下げによる原資を、普通交付税として地方に分配する方向性がある。

**総務部長** 増収部分につきまして、状況を見きわめながら、新年度予算編成に向けて検討していきます。

**問** 消費増税分の社会保障費の想定・検証は。

**総務部長** 全て国民に還元し社会保障財源化するとされており、地方消費税交付金におきましては、引き上げ分を5,000万円と見込んでいます。

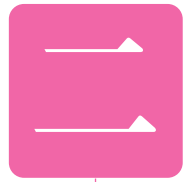
### 地方法人税の概要



# Q&A

ここが聞きたい

一般質問



## 期目の町政運営を伺う

町長 さらなる進化に向けたまちづくりに全力で取り組みます



河野辺恒雄 議員

公約実現のための  
具体的方策は  
会派「新風会」を新設し  
魅力ある町づくりに是非  
の立場で問う

**問** 町長の一期4年間の実績は町民に信頼され無投票にて再選されましたが見解は。二期目の5つの公約の速やかな実行が必要である。現在の状況のなかで、産業環境づくりで羽生田産業団地の現在の状況と今後の見通しは。

**町長** 一期目は、第5次総合振興計画に掲げました町の将来像「活力と総意が生きる希望に満ちたまち・みぶ」の実現のため、各種事業を推進、努力してきました。

今回の町長選挙は、結果として無投票でしたが、今後、確実に実施しなければならぬ事業、継続して行く事業等々があります。今後は初心に戻って町民の皆様の要望をしっかり把握し、さらなる進化に向けたまちづくりに全力で取り組んでいきます。

みぶ羽生田産業団地は、平成24年12月に第1期の分譲が始まり、本年6月2日には最大街区であります第1街区を含む27㍓ヘクタールの第2期分譲を開始いたしました。現在の状況は、1社が4月に営業開始、もう1社も今年の夏の営業開始に向けて、今工事が進行しています。今後、県企業局と連携をし、産業団地の早期分譲完了を目指して努力をしていきます。

子どもの新学期生活状況は

**問** 新学期に入り学校生活環境になれ楽しい時を過ごしていると思う。当町の小、中学校の生徒の不登校、長期欠席者数、理由、学年別男女別数は。

**教育次長** 本町では、長期欠席児童調査を毎月実施し、一

月に5日以上欠席をした児童・生徒は4月では小学校で2名、中学校で27名となっており、不登校の主な理由は、不安などの情緒的混乱、友人関係、親子関係などの家庭問題、学業不振、無気力などが複合しています。

学年別数等は、小学校では、5年生女子1名、6年生男子1名、計2名、中学校では、1年生男子2名、女子1名、計3名・2年生男子5名、女子6名、計11名、3年生男子6名、女子7名、計13名です。



南犬飼中の元気な生徒たち



# 議案に対する審議状況

※市川義夫議員は議長のため採決にわりません。

議案番号	議案名	遠藤 恭子	赤羽根信行	河野辺恒雄	小牧 敦子	坂田 昇一	玉田 秀夫	田村 正敏	中川 芳夫	鈴木 理夫	榎井 聰	大島 菊夫	落合 誠記	高山 文雄	細井 敬一	小貫 暁
議案第1号	職員の配偶者同行休業に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第2号	市町の境界変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第3号	市町の境界変更に伴う財産処分に関する協議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第4号	壬生中学校管理特別教室棟耐震補強工事請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第5号	壬生中学校普通教室棟及び渡り廊下棟耐震補強工事請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第6号	壬生町公共下水道処理センターの建設工事委託に関する契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第7号	財産の取得について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第8号	壬生町副町長の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第9号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第10号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第11号	平成26年度壬生町一般会計補正予算（第1号）決議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
報告第1号	平成25年度壬生町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
報告第2号	平成25年度壬生町公共下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書の報告について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
報告第3号	平成25年度壬生町農業集落排水事業特別会計繰越明許費繰越計算書の報告について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
報告第4号	一般財団法人壬生町施設振興公社の平成25年度事業報告書・財務諸表及び一般財団法人壬生町施設振興公社の平成26年度事業計画書・予算書の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

## 表紙写真の説明

### 青少年健全育成 心の教育

至宝南自治会（鈴木武夫会長）では「青少年健全育成・心の教育」を実施しており、今回で14年連続の開催になります。自治会と地域団体が一体となり「うちの子、よその子、至宝の子、皆で育てて明るい未来」を掲げ「自治会は一つの家族」を合言葉に地域を育んでいます。

玉田秀夫

## 議会広報特別委員会

委員長 赤羽根信行  
副委員長 玉田 秀夫  
委員 坂田 昇一  
〃 中川 芳夫  
〃 遠藤 恭子

## 編 集 後 記

残暑がひときわ身に染みるこの頃です。上半期は、大雪災害、梅雨時期からのゲリラ豪雨による農作物への被害がありました。下半期は、災害がないことからは願うばかりです。

スポーツに目を向けると、学童野球大会の当日、日々努力した自分を信じ、最後まで諦めず、自分と戦う児童の姿に胸を熱くしました。

私たち議員も、町民が安心安全な生活が送れるよう日々努力していきます。そして、広報委員一丸となり、より多くの町民の皆様に読んでいただける議会だよりを届けます。

“もう空は秋の色”  
実り多き季節になりますように。

（遠藤恭子 記）



## 災害御見舞

8月10日に発生した竜巻により、被災された地域の皆様に対しまして、心よりお見舞い申し上げます。議会としても、一日も早い復旧をお祈りいたします。